

工技センター連携を

岡山、広島
知事会議 繊維産業振興狙う

岡山、広島両県の知事会議が16日、岡山県矢掛町内で開かれ、福山、井笠地区で集積の高い繊維産業の振興に向け、工業技術センター同士の連携を検討していくことで一致した。

広島県の湯崎英彦知事は同県東部工業技術センター（福山市）で繊維の専門研究員が少なくなっていると「両県の研究員の技術を相互に交換し、企業を支

援したい」と提案。岡山県の伊原木隆太知事も「お互いのリソース（資源）を開放するのはすばらしい。所長同士が定期的に会うことも含め、連携を進めていきたい」と応じた。

岡山県（岡山市）の3人に



工業技術センターの連携を確認した伊原木知事（右）と湯崎知事

得意分野などを整理し、互いに補う仕組みづくりなどを検討する。

このほか湯崎知事は、来年5月の主要国首脳会議に合わせて倉敷市で教育相会合、広島市で外相会合が開かれることを踏まえ、「瀬戸内地域をしっかりとPRしたい」と強調。伊原木知事はサイクリングルートの選定に関して「しまなみ海道との連携を相談させてほしい」と述べた。

対して広島県東部は1人しかおらず、保有する機器や

（小橋充）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。